

リウマチセンターだより

当センターとの連携施設のご紹介です

*** 第3回目 中央公園クリニック ***



当院は、関節リウマチを中心に診療を行っています。

関節リウマチは、関節を主病変とし、関節滑膜に炎症を起こします。多くの場合、治療は、長期の経過となります。長期にわたって安定すること、あるいは何度も関節炎が再発することもあります。お薬がなかなか効きにくい場合もあります。

関節リウマチの患者さんの滑膜は、慢性炎症の状態にあります。いつも同じ状態にあるわけではないと思います。治療の経過中には、何らかのきっかけによって、今ある滑膜の炎症が強くなってしまうことも、あるいは、滑膜炎のしくみが一部変化して、別のパターンで滑膜の炎症を起こすようになるということもあるのではないのでしょうか。生物学的抗リウマチ薬で治療中に、その効果が減弱することがあります。私は、そのような患者さんでは、経過中に滑膜炎のしくみが一部で変化し、前とは違ったパターンで滑膜に炎症を起こすようになっているのではないかと思います。

そのため、これまで有効であった生物学的抗リウマチ薬が効かなくなると私は推測しています。

生物学的抗リウマチ薬からJAK阻害薬の内服に変更することによって、患者さんの関節炎が軽快することがあります。JAK阻害薬が、変化した滑膜炎のしくみの鍵穴にうまく作用することができたので、その炎症を抑えることができたのだと思います。

関節リウマチの滑膜炎の私の私見を述べました。関節リウマチの滑膜炎のしくみは、ずいぶんと明らかにされてきましたが、まだわかっていないことも多いと思います。今後、さらにその病態の解明が進んでいくのだろうと思っています。

中央公園クリニック

院長 堀江 誠一



〒320-0851 栃木県宇都宮市鶴田町3608-8

診療科

リウマチ科・内科

診療時間

	月	火	水	木	金	土
9:15~12:00	○	○	-	○	○	○
14:00~17:00	○	○	-	○	○	-

休診日

水曜・土曜午後・日曜・祝祭日

リウマチ教室のお知らせ

日時：令和7年5月31日（土） 14:00~16:00

場所：関湊記念ホール

駐車場：外来駐車場（無料です）

参加費無料、申し込み不要です

当院通院中の患者さん、ご家族をはじめ
どなたでも参加できます。

